

ベトナムの2025年4－6月期GDP成長率は7.96%



《堅調なベトナム経済》

ベトナムの 2025 年 4－6 月期の GDP 成長率（実質の実績推定値ベース、前年同期比増減率、以下同様）は 7.96%だった。4 月に発表された米国の相互関税の交渉の行方に対する警戒感が下押し圧力となったと推定されるが、結果は 1－3 月期の 7.05%成長を上回る成長を記録した。セクター別の GDP 成長率は以下の通りだった。農林水産業の GDP 成長率は、水産業の好調が牽引役となり 1－3 月期の 3.80%から 3.89%へ拡大した。鉱工業と建設業の GDP 成長率は 1－3 月期の 7.61%から 8.97%へ大きく加速しているが、これは情報機器の輸出拡大による製造業の好調と、インフラ投資拡大による建設業の成長加速が大きく貢献している。サービス業の GDP 成長率は 1－3 月期の 7.80%から 8.46%へ上昇したが、これは情報通信業と金融業の好調が貢献している。卸売・小売業は 1－3 月期の 7.35%成長から 6.73%へやや減速した。

相互関税の発動が延期されたこと、1－3 月期の駆け込み需要による在庫水準の低下といった要因が製造業の活動を一時的に押し上げた可能性があるが、政府主導によるインフラ投資の拡大、低価格住宅供給対策の速やかな実行といった内需拡大に向けた取り組みが GDP 成長率の加速に一定の効果をもたらした可能性がある。適切な金融政策や金融機関に対する指導によって、物価上昇や金利水準が低位で安定したことも国内消費活動をサポートしたようだ。

ベトナム政府の 2025 年の GDP 成長率目標は 8.0%となっている。米国の関税政策の動向やその実行に伴う世界貿易の縮小など不透明要因が多くある点には引き続き注意は必要だろう。しかし、ベトナム政府が、このような状況に対応し、積極的に構造改革を進めている点にも留意するべきだろう。従来のベトナムへの生産拠点移転や輸出だけでなく、新たに政府主導のインフラ投資も加わった形で生産や雇用の拡大が加速し、国内消費を押し上げるという新たな好循環の構築に取り組んでいるとみられ、その効果が 2025 年 7－9 月期以降の GDP 成長率を押し上げる可能性にも一定の注意が必要だろう。また、株式市場のフロンティア市場から新興市場への格上げへの取り組み（弊社 2025 年 4 月 14 日付けレポート「ベトナム株式市場の格上げ判断は 9 月へ」参照）、金融機関の保有する担保不動産の流動化加速に向けた規制緩和、民間企業活力の公共工事への活用など、ベトナム政府当局が取り組む資金循環の効率化は予想外の効果をもたらす可能性があるだろう。

図表1 主要セクターの四半期実質GDP成長率の動向（単位 十億VND）

	2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期 (推定値)	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
GDP	1,522,154	7.09	1,567,923	7.43	1,773,652	7.55	1,504,532	7.05	1,643,317	7.96
農林水産業	151,114	3.64	161,767	2.95	192,991	2.99	153,086	3.80	156,992	3.89
鉱工業と建設業	550,499	8.60	588,545	8.98	657,896	8.35	527,587	7.61	599,879	8.97
サービス業	684,839	7.10	680,490	7.52	776,143	8.21	681,966	7.80	742,776	8.46

出所 ベトナム統計総局のデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250710

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ベトナムの2025年4－6月期GDP成長率は7.96%

《株式市場へのインプリケーション》

図表 2 はベトナム株式市場の代表的な株価指数である VN 指数と、ベトナム株式市場での外国人投資家による売買差額（5 日累計）を示したものである。VN 指数は 2022 年 1 月に 1,536 ポイントの高値を記録したが、2022 年 4 月以降に資本市場や不動産取引における不正な取引が相次いで発覚し、投資家からの信頼が著しく後退したため、調整局面に移行した。不動産取引が停滞したこと、金融政策の混乱などもあり、調整局面は 2025 年の年初まで長期化した。しかし、株式市場のフロンティア市場から新興市場への格上げへの取り組みが進捗し始めた 2025 年の年初から外国人投資家の売り越し基調が止まり、米国の相互関税の混乱収束以降は買い越し基調が加速している。2025 年の GDP 成長率が高いこと、物価の安定に裏打ちされた史上最低レベルの金利水準、足元で始まった構造改革による持続可能性の高い成長力など、株式市場のファンダメンタルズが、史上最高値を記録した 2022 年 1 月よりも改善している点を外国人投資家が評価していると考えられる。また、2025 年 9 月に株式市場のフロンティア市場から新興市場への格上げが実施されれば、少なからずインデックスファンドからの資金流入が期待できるため、ファンダメンタルズの改善に合わせて株式市場の需給関係が改善する期待も高まっている。ベトナム株式市場の中長期的な投資魅力は高まっているといえそうだ。

図表2 外国人売買動向とVN指数の推移



出所 各種資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250710

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。